

平成28年度
事業報告

社会福祉法人 奈良県社会福祉事業団

目 次

1 総 括	3
2 法人運営	5
3 奈良県障害者総合支援センターの運営状況	8
(1) わかくさ愛育園の状況	8
(2) 自立訓練センターの状況	12
(3) 社会就労センター（就労継続支援事業B型）の状況	14
(4) 高次脳機能障害支援センター	15
4 県営福祉パーク（介護実習・普及センター）の運営状況	16
5 職員の状況	18

平成28事業年度事業報告

1 総括

当事業団では、平成28年度において、改正社会福祉法に対応するため、定款変更や規程の新設等に取り組み、評議員会や評議員選任・解任委員会の設置を行うとともに、事業運営の透明性の向上を図るため予算や決算の状況等についてホームページ上に公表しました。

計画した諸事業については、概ね計画どおり実施しました。

今後も、奈良県総合リハビリテーションセンターの医療とよりいっそう連携を図り、指導・訓練等を総合的に実施し、もって、障害者等の社会的自立の促進に寄与するよう努めます。

また、県営福祉パークを適正に維持管理するとともに、介護実習・普及センターにおいては、介護知識、介護技術の普及・研修や介護機器の普及等に努めていきます。

平成28年度重点取組事項について

重点取組事項	平成28年度取組状況
(1) 障害児相談支援事業に加え、昨年度開始した障害者の計画相談支援事業について、障害者サービス利用に関する相談、利用計画の作成、モニタリングを充実	わかくさ愛育園相談支援事業として利用計画作成42件、モニタリング30件を実施 自立訓練センター障害者計画相談事業として、利用計画作成28件、モニタリング24件を実施
(2) 自立訓練センターにおいて、就労前訓練を展開し、今までの障害者支援のノウハウの蓄積を活用することで、積極的に障害者の就労を促進	試行期間を経て、3月より6名の対象者に対し、ワークサンプル幕張版を教材に就労前訓練を本格的に実施
(3) 高次脳機能障害支援センターにおいて、成人のSST(ソーシャルスキルトレーニング)を展開し、高次脳機能障害者の社会生活力の向上を図り、ニーズに沿った社会生活を送れるよう支援を実施	年度中に合計7回実施 高次脳機能障害者の就労にむけての取り組みとして、事前評価・セッション事後評価・本人へのフィードバックを実施
(4) 作業療法士が地域に出向き、発達障害児に対する支援や、普及活動を行う「子ども地域支援事業」を充実	施設訪問事業のべ291件、研修会講師派遣事業18件、合計309件を実施 各施設1～2回の訪問とし、作業療法士及び感覚統合の視点で支援方法や遊びの紹介などを実施

<p>(5) 介護実習・普及センターにおいて、新たに福祉用具の日(10月1日)に「福祉機器展」を開催すると共に、介護予防のための講座と夏休み親子介護体験講座を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉機器展」開催日:10/1、参加者:400人後援:16団体、模擬店:10店舗 ・「つながり祭」(共催)開催日:5/15、参加者:2000人 ・「介護予防講座」5回開催、受講者:93人 ・「夏休み親子介護体験講座」開催日:8/25、参加者:2組6人
<p>(6) 飛鳥川沿いをはじめ、施設周囲のフェンスに設置した鉢等に花植えを実施し、一年中花のある環境を実現し、地域の方々に親しんでいただける施設をめざす</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・川の彩り花つつみ事業:「飛鳥川を軸とした川辺のまちづくり」開催日:6/17、10/21、川辺のまちづくり隊、高等養護学校、園児等の協力を得て、花植を実施
<p>(7) 障害福祉の社会的ニーズに応えられるよう、良質なサービスの提供、利用者の受け入れ拡大の方策を検討すると共に、それらに対応するために、築後28年を経過する施設のリニューアルの検討も併せて進める</p>	<p>各施設のメンバーによりワーキングチームを構成し、検討会議を実施</p> <p>「人工呼吸器装着児・者の利用受け入れ」「重症心身障害者の入浴サービス」「利用者の療養、訓練環境整備」等について検討を進めた</p>

2 法人運営

(1) 会議等

ア 理事会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成28年 5月20日	奈良県文化 会館	理事7名 監事1名	1 議決案件 (1)平成27年度事業報告 (2)平成27年度財務報告 2 報告事項 評議員会の設置について
第2回	平成29年 2月8日	奈良県庁	理事6名 監事1名	1 議決案件 定款の一部変更について 2 報告事項 今後のスケジュール等について
第3回	平成29年 3月27日	ホテルリガ ーレ春日野	理事8名 監事2名	1 議決案件 (1)平成28年度資金収支補正予算について (2)平成29年度事業計画及び資金収支予算 について (3)役員の選任について (4)評議員選任・解任委員会規程について (5)評議員選任・解任委員会委員の選任につ いて (6)評議員候補者の推薦について 2 報告事項 今後のスケジュール等について

イ 評議員選任・解任委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成29年 3月31日	奈良県社会 福祉総合セ ンター	委員3名 理事1名	1 議決案件 (1)委員長の互選について (2)評議員の選任について

ウ 奈良県介護実習・普及センター運営委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成29年 3月8日	奈良県介護 実習・普及 センター	委員8名	1 議決案件 (1)平成28年度事業報告について (2)平成29年度事業計画について

エ 施設部経営管理改善委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回 ～ 第11回	平成28年 4月13日 ～ 平成29年 3月21日	奈良県社会 福祉事業団 討議室	所 長 副 所 長 事務部長・課長 施設部長・次長 施 設 部 主 任	1 議決案件 (1)施設部の経営状況について (2)当面の経営改善について (3)その他

オ 奈良県障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館の指定管理連絡会議

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	平成28年 5月24日	奈良県障害 者総合支援 センター	ファシリティー・マネ ジメント室2名 障害福祉課2名	平成27年度事業報告及び決算状況に ついて
第2回	平成28年 8月30日	奈良県障害 者総合支援 センター	ファシリティー・マネ ジメント室2名 障害福祉課2名	1 平成28年度第1四半期の利用実績 について 2 平成28年度重点事項の進捗状況 について
第3回	平成28年 11月30日	奈良県障害 者総合支援 センター	ファシリティー・マネ ジメント室2名 障害福祉課1名	1 平成28年度第2四半期の利用実績 について 2 平成28年度重点事項の進捗状況 について
第4回	平成29年 12月24日	奈良県障害 者総合支援 センター	ファシリティー・マネ ジメント室2名 障害福祉課1名	1 各施設の利用実績について 2 平成28年度重点事項の進捗状況 について

(2) 広報調査事業

名称	発行時期等
ア 機関誌 (奈良県社会福祉事業団ニュースきらり)	平成28年9月1日(第13号) 平成29年3月21日(第14号)
イ ホームページ	随時更新
ウ 利用者満足度調査 ・わかくさ愛育園 ・自立訓練センター ・社会就労支援センター ・県営福祉パーク	平成29年1月23日～1月27日 平成29年2月28日～3月31日 平成29年2月20日～3月3日 見学者及び研修講座の都度

(3) 監査

ア 監事監査

年月日	場所	監査事項
平成28年5月13日	奈良県障害者総合支援センター	1 平成27年度の業務執行状況について 2 平成27年度の財産状況について

イ 奈良県監査指導室監査

年月日	場所	監査事項
平成28年11月17日	奈良県橿原総合庁舎	わかくさ愛育園(医療型・福祉型)

3 奈良県障害者総合支援センターの運営状況

(1) わかくさ愛育園の状況

わかくさ愛育園は、児童福祉法に基づく「児童発達支援センター」として、母子間の心の絆をつくり、子供の心を安定させることに留意し、児童個々の必要に応じた機能回復訓練、感覚運動学習を含む基礎保育を展開し、身辺自立や社会的ルールの獲得への取り組みを進め、各児童の成長・発達を助長した。

重症心身障害児(者)関係では、療育的なかわりに加え、生活経験を豊かにすることを目標に、スポーツレクリエーション、季節の行事、音楽活動などの活動を提供した。

また、障害児相談支援事業では、障害のある子どもたちとその保護者からの相談に応じ、抱える課題の解決や適切な障害福祉サービス等の利用に向けて、情報の提供及び助言を行い、併せて市町村及び障害福祉サービス事業者等との連絡調整などを総合的に支援している。

ア 通園児(者)入退所状況

(単位:人)

施設別 入退状況	定員	在籍児数			退所 児童数	左 の 内 訳						3/31 在籍児 (者)数
		前年度 引継	本年度	計		特別支援 学 校	小学校	幼稚園・保育所 並行通園の利用 無 有	他施設	家庭等		
医療型児童発達支援センター	60	9	6	15	7	1		3	1	2		8
内、並行通園		0		0	0							0
児童発達支援センター(知的)	40	42	38	80	32	6	18	4	(5)	4		48
内、並行通園		22	18	40	20	1	16	3				20
児童発達支援センター(重心児)	15	13	5	18	6	6						12
生活介護		16	0	16	0							16
計	115	80	49	129	45	13	18	7	1(5)	6	0	84
内、並行通園		22	18	40	20	1	16	3	0	0	0	20
平成27年度	115	83	52	135	55	13	22	8	1(8)	7	5	80
内、並行通園		23	19	42	28	7	18	3	0	0	0	14

イ 通園児(者)疾患別・年齢別状況

(単位:人)

疾患別 年齢別	医療型児童発達支援センター						児童発達支援センター(知的)						児童発達支援センター(重心児)・生活介護						合計
	脳性まひ	脳原性発達障害	筋障害	染色体異常(ダウン症他)	その他	計	知的遅れなし(発達障害他)	知的遅れあり				計	脳性まひ	脳原性発達障害	筋障害	染色体異常(ダウン症他)	その他	計	
								発達障害(自閉傾向含む)	染色体異常(ダウン症他)	病理的原因あり	その他								
1歳				1		1					0						1	1	2
2歳					1	1					0						1	1	2
3歳	2		1		1	4	2	7	3		12	1	1		1	1	4	4	20
4歳	1			1	1	3	2	16	1	1	20		1				1	1	24
5歳	3			1	1	5	4	10	5	2	24		4				2	6	35
6歳					1	1		16	4	1	24	2	1		1	2	6	6	31
小計	6	0	1	3	5	15	8	49	13	3	7	80	3	7	0	2	7	19	114
18歳～19歳																		0	0
20歳～29歳													1				10	11	11
30歳以上													2				3	5	5
小計													3	0	0	0	13	16	16
計	6	0	1	3	5	15	8	49	13	3	7	80	6	7	0	2	20	35	130
平成27年度	5	1	1	6	3	16	7	46	11	6	15	85	6	7	0	1	20	34	135

ウ 障害児相談支援事業の状況

(単位:件)

区分	障害児相談支援利用計画の作成	モニタリング実施件数
平成28年度	42	30
平成27年度	46	23

エ 発達障害児医学的療育支援事業の状況

「子ども地域支援事業」として、発達障害あるいは発達障害の疑いのある子どもが、地域社会の中で生き生きとした生活を送るために感覚統合療法等を用いた専門的な支援を行うことを目的とし、施設訪問事業、研修会講師派遣事業を実施した。

○ 訪問事業・研修会講師派遣事業

区 分	施設訪問事業		研修会講師派遣事業	
	件 数	相談児童数	件 数	研修会参加者
平成28年度	291件	1,479人	18件	483人
平成27年度	337件	1,994人	20件	964人

○ 訪問事業の訪問先

区 分	件 数	相談児童数
小学校	49件	250人
中学校	1件	1人
幼稚園	68件	343人
特別支援学校	2件	7人
幼児園・子ども園	17件	87人
保育所(園)	104件	529人
学童保育所	20件	82人
療育教室、施設	18件	129人
デイサービス	12件	51人
計	291件	1,479人

オ 保育所訪問支援の状況

わかさ愛育園を利用している園児が、集団生活に適応することができるよう、当園保育士が地域の保育園等を訪問し、園児本人、保護者、保育園等スタッフに支援を行う。

1. 訪問先別件数

訪問先	園数	件数
保育所・保育園	12	15
幼稚園	17	22
幼児園	2	3
合計	31	40

2. 市町村別件数

訪問先市町村	園数	件数	訪問先市町村	園数	件数
大和高田市	3	3	川西町	1	1
橿原市	1	1	広陵町	2	2
桜井市	2	2	河合町	1	1
御所市	2	3	上牧町	1	3
五條市	2	3	王寺町	1	1
葛城市	7	11	斑鳩町	1	1
宇陀市	3	3	三郷町	1	1
田原本町	2	3	大淀町	1	1
合計				31	40

3. 相談・支援内容

集団生活、活動への参加状況について

- ・他の園児と仲良く遊んでいるか
- ・ともだちづくりができているか
- ・集団活動ができているか
- ・身の回りのことが自分でできているか
- ・先生の指示通りにできているか

サポート体制について

- ・スタッフが園児の特性を理解してもらっているか
- ・発作時等にどのように対応してもらっているか
- ・どのように保育での関わりをしてもらっているか

(2) 自立訓練センターの状況

障害者総合支援法に基づく障害者支援施設として、自立訓練(機能訓練・生活訓練)及び施設入所支援を行った。

利用者が自立した地域社会を営むことができるよう、利用者の障害特性や個々のニーズに即した質の高い障害者支援サービスの提供に努めた。

また、地域での居宅生活を営む者で、主たる介護者の疾病、その他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者につき、入浴・排せつ・食事等の介助及び必要な支援を行った。

ア 日中活動サービス

○ 指定障害者支援施設の利用状況

(単位:人)

利用契約 状況 区分	定員	1日当たり 利用者数	実利用者数			契約 解除 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
			前年度 引継	本年度	計		就職	他施 設	医療 機関	家庭 復帰	
自立訓練(機能)	55	27.9	40	27	67	23	0	7	1	15	44
自立訓練(生活)	20	15.6	30	19	49	16	1	0	1	14	33
計	75	43.5	70	46	116	39	1	7	2	29	77
平成27年度	75	48.1	83	46	129	58	0	10	4	44	70

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
自立訓練(機能)	38	5	7	3	16	69
自立訓練(生活)	22	0	0	21	8	51
計	60	5	7	24	24	120
平成27年度	72	3	6	30	19	130

○ 利用契約者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
自立訓練(機能)	0	2	7	20	25	15	0	69
自立訓練(生活)	1	3	10	13	15	9	0	51
計	1	5	17	33	40	24	0	120
平成27年度	0	9	12	38	40	30	1	130

イ 施設入所支援サービス

○ 指定障害者支援施設の利用状況

(単位:人)

利用契約 状況 区分	定員	1日当たり 利用者数	実利用者数			契約 解除 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
			前年度 引継	本年 度	計		就職	他施 設	医療 機関	家庭 復帰	
平成28年度	60	28.8	27	17	44	11	0	3	0	8	33
平成27年度	60	33.1	40	19	59	32	0	10	3	19	27

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
平成28年度	33	1	3	2	6	44
平成27年度	47	0	3	5	5	60

○ 利用契約者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
平成28年度	0	1	4	14	17	8	0	44
平成27年度	0	2	3	19	18	17	1	60

ウ 短期入所支援サービス

○ 指定短期入所事業の利用状況

(単位:人)

区 分	利用者数	延べ利用日数
平成28年度	11	386
平成27年度	13	254

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
平成28年度	3	2	1	2	3	11
平成27年度	5	5	0	1	2	13

エ 計画相談事業

(単位:件)

区 分	利用計画作成件数	モニタリング実施件数
平成28年度	28	24
平成27年度	16	4

(3) 社会就労センター(就労継続支援事業B型)の状況

就労することが困難な障害者に対して、その自立と社会経済活動の参加を促進するため、個別支援計画に基づき、個々の能力や特性に応じた就労支援サービスの提供に努めた。

また、一般企業からの受注を円滑にするため各関連企業との連携を密にし、利用者に対する平均工賃のアップを目指した。

ア 利用状況

(単位:人)

区分	利用契約 状況	定員	1日当たり 利用者 数	実利用者数			退 所 者 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
				前年度 引継	本 年 度	計		就 職	他施 設	医療 機関	家庭 復帰	
平成28年度		30	29.0	34	5	39	7	1	1	1	2	32
平成27年度		30	29.0	34	1	35	1	0	0	0	1	34

イ 年齢別・原因疾病別状況

(単位:人)

疾病別\年齢別	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	計
脳性麻痺	0	0	0	0	1	0	1
脳血管障害	0	1	1	4	4	7	17
脊椎損傷	0	0	0	0	0	0	0
頭部損傷	0	0	0	5	1	0	6
知的障害	0	2	0	1	0	1	4
その他	0	0	3	1	1	1	6
計	0	3	4	11	7	9	34
平成27年度	0	4	5	9	8	9	34

ウ 工賃の状況

区分	延べ支給対象人員数	工賃支払額	月額平均工賃
平成28年度	417人	5,314,628円	12,944円
平成27年度	407人	4,166,117円	10,236円

(4) 高次脳機能障害支援センター運営事業の状況

高次脳機能障害者に対する支援を総合的に行う県の拠点として、本人等からの相談に応じ適切な指導又は助言を行うとともに、関係機関等との連携強化により、高次脳機能障害者に対する総合的な支援体制の整備を推進し、高次脳障害者及びその家族の福祉の向上を図った。

ア 個別相談事業、検査・診断事業

(単位:件)

区 分	延べ 相談件数	左 の う ち		診 断	神経心理学 検査
		来所相談	訪問相談		
平成28年度	3, 187	434	26	70	56
平成27年度	2, 942	447	16	62	43

イ 普及・啓発事業

区 分	開催日	内 容
高次脳機能障害 支援センター主催 共 催	平成28年8月6日 平成28年12月10日 平成28年11月10日	高次脳機能障害研修会(家族・支援者対象) テーマ:子どもの高次脳機能障害 医療機関職員対象研修会 テーマ:高次脳機能障害の診断とリハビリテーション 東和國域高次脳機能障害勉強会(地域支援者対象)
講師派遣	平成28年9月29日 平成28年10月17日 平成28年11月19日 平成28年12月4日 平成29年1月28日	ジョブコーチ対象勉強会(就労支援担当者対象) 関西学研医療福祉学院(作業療法士学科生徒対象)講義 第5回脳卒中ケア研修会(看護師対象) 障がい者を理解するための市民講座 奈良市社会福祉協議会 市民後見人フォローアップ研修
家族会主催 実行委員会協力	平成28年9月22日	高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ～発症から社会参加にむけて～

4 県営福祉パーク(介護実習・普及センター)の運営状況

県営福祉パークでは、高齢者や障害者を含め訪れたすべての人が見て・触れて・体験しながら学べる場所として、公共施設モデル、多目的広場等の屋外施設や福祉住宅体験館の維持管理に努めた。

介護実習・普及センターでは、要介護者等からの各種相談に応じるとともに、介護、実習を通じて介護知識・技術の普及啓発に努めた。また、展示の福祉機器をできるだけ最新機器に更新する等の取り組みを行った。

今年度は16団体の後援を得て、「みんなで見て、触れて、試して、体験しましょう」のテーマで、第1回福祉機器展を開催し、400名の参加者があった。

ア 相談事業の実施状況

区 分	件 数	相 談 者 数
平成28年度	1,263 件	1,523 人
平成27年度	1,010 件	1,277 人

イ 介護講座等の実施状況

講 座 名	実 施 回 数	受 講 者 数
介護体験講座	140 回	2,206 人
介護講座	7 回	195 人
高齢者向講座	8 回	182 人
福祉住宅体験館案内ボランティア育成講座	1 回	4 人
公開講座	1 回	150 人
自助具製作体験講座	12 回	85 人
福祉機器展(つなご祭)	1 回	2,000 人
夏休み親子介護体験講座	1 回	6 人
介護予防講座	5 回	93 人
(上記のうちボランティア関係分)	(4 回)	(72人)
計	176 回	4,921 人
平成27年度	146 回	4,400 人

ウ 福祉パーク・福祉住宅体験館利用状況

区 分	団 体 数	利 用 者 数
個人利用者		64,327人
団体見学	140	2,206人
計	140	66,533人
平成27年度	115	61,873人

エ 福祉機器展の開催状況

○第1回福祉機器展

開催日：平成28年10月1日(土) 10:00～15:00

開催内容：・福祉機器展示

・講演会 お笑い理学療法士 日向亭 葵

「生涯現役を目指す！～エアリハ健康術～」

・車いすダンス

・自助具制作体験

・障害者作品展

・健康体操

・模擬店

5 職員の状況

○ 職員数

(単位:人)

		平成27年度 当初職員数	平成28年度 当初職員数	増減	備考
職員		61(6)	63(7)	2(△1)	病院機構との併任(事務部) H27:5→ H28:5
内 訳	事務部	9	8	△1	
	施設部	50(6)	53(7)	3(△1)	
	福祉パーク	2	2	0	

日々雇用職員を除く ()は非常勤職員数(内数)